

2025/4/26

亀崎小学校「児童の居場所」放課後ひろば ワークショップ開催にあたり
いただいたご意見、ご質問等への回答

半田市子ども育成課

No.	入力者 年齢	ご意見、ご質問等	回答
1	40代	亀崎小学校区内の未就学児の利用が可能になるとのことですが、居住地を提示した上での登録制となるのでしょうか？ 利用時間は放課後限定ということでしょうか？	放課後ひろばを利用する場合は、事前に利用申込をする運用を考えております。その際、住所を記入していただく予定です。利用時間ですが、平日は放課後からになります。土曜日や長期休業期間は、9時から12時、13時から17時（16時30分 10月～3月）を予定しています。
2	30代	放課後ひろばは、学校を欠席していても利用可能かどうか。 一旦帰宅してからの利用は可能か、その際自転車を使用してもよいのか。 未就学児の利用可はととてもありがたい。午前中から利用できるのか、できなければ午後何時から利用できるのか。	放課後ひろばは、体調不良等で学校を欠席している場合は、ご利用できません。一旦帰宅してからのご利用は可能です。自転車の利用は可能ですが、安全面の観点から学校のルールに従って利用していただきたいと考えております。 未就学児の利用について、平日は放課後からになります。土曜日や長期休業期間は、9時から12時、13時から17時（16時30分 10月～3月）を予定しています。
3	30代	未就学児の利用についてですが、半田市内在住、せめて亀崎中学校区在住まで範囲を広げていただけると大変助かります。わたしは有脇小学校区在住ですが、親子で亀崎児童センターをよく利用しています。小学校区は隣ですが、中学校区が同じということもあり、生活圏内はほとんど同じで近所です。遊びに来ている親子連れの方々とたくさん情報交換ができ、楽しく遊ばせていただいています。いろんな親子連れ仲間たちとお話ししていると、亀崎幼稚園に入園予定の乙川の地域に住んでいる方もいらっしゃるようでした。そのため亀崎小学校区在住に限られてしまうと、安心して小さい子どもを連れて遊びに行くことができ、近所の親子連れ仲間との情報交換ができる貴重な居場所が減ってしまうため、大変困ります。利用できる地域の範囲について、ご検討いただければ幸いです！	ご意見ありがとうございます。 利用者のエリア範囲については、現時点では未就学児は「亀崎小学校区在住または、亀崎の幼稚園、保育園に通園する未就学児（保護者同伴の利用。）」とさせていただいております。 多くの方にご利用いただきたいと考えてはありますが、限られた面積（部屋、駐車場）のなかで、また、2人の人員体制でどれだけの利用者を受け入れられるか想定が難しいところです。 上記の対象者により開設させていただき、利用状況を見ながら対象者の範囲を検討させていただけたらと考えております。

No.	入力者 年齢	ご意見、ご質問等	回答
4	30代	放課後ひろばは放課後ひろばとして開始するのは良いことだと思います。しかし児童センターの閉館には反対です。いまずぐ閉館するのではなく需要がある間は活用すべきです。 今児童センターを閉館するのなら、公共交通機関もかなり不便で商業施設も乏しく海に近い亀崎に今後他所から移り住みたいと思う人はますますいなくなると思います。働く親を支援すると謳いながら、支援から遠ざかった行動に見受けられます。	ご意見ありがとうございます。 市の方針としましては、既存の児童センターを建て替える代わりに、13ある小学校の施設更新に併せて小学校内に子どもの居場所を整備していくこととしておりますので、ご理解ください。 なお、亀崎児童センターの建物について、行政が管理する施設としてではなく、地域等が維持管理していく具体的な構想があれば、別途協議していきたいと思います。
5	10代	中学生も遊べるようにしてほしい。亀崎から児童センターがなくなってしまうと、中学生が集まって遊ぶところが公園しかなくなってしまう。公民館では静かにしてないといけないし、図書館で自主勉強もできない。どこで集まればいいのかわかりません。有脇や乙川の児童センターに行けということでしょうか？中学生のことも考えてください。 他の地域では雁宿ホールや半田図書館で自習ができたり、体育館や運動公園でスポーツができたり、児童センターもあるので遊ぶこともできます。亀崎だけ自分達で行ける範囲に何もありません。同じ半田市に住んでいるのにおかしいと思います。 児童の居場所というのなら、18才未満の子ども全ての居場所だと思います。亀崎小学校に入れないのなら今の児童センターの今後の活用として、中高生の居場所として使えないか考えてください。みんなで勉強したり遊んだりしたいです。よろしくお願いします。	ご意見ありがとうございます。 亀崎小学校の放課後ひろばについては、小学生の放課後の居場所、また、未就学児の居場所として考えております。限られた面積、人員体制のなかで利用者の安全を確保する観点から、このような運用で開始したいと考えておりますので、ご理解ください。 なお、中学生、高校生がボランティアスタッフとして参加してもらえる機会をつくり、学年や年齢を超えた人のつながりを築ける場となるよう考えていきます。 また、亀崎児童センターの建物について、行政が管理する施設としてではなく、地域等が維持管理していく具体的な構想があれば、別途協議していきたいと思います。